



## 令和5年度琉球大学公開講座

# 「生活文化のなかにおける沖縄伝統空手と健康」

空手の発祥の地である沖縄県から、地域社会へ貢献したいと願う空手家と看護師との連携による沖縄伝統空手をご紹介します。

今回は、空手の重要性を世界へ英語も交えて発信（オンラインでの同時配信）し、沖縄伝統空手の基本技である型の実践、健康法としての空手、空手型の理論と実践哲学、その重要性を「なるほど!」と実感できる講座となっております。

沖縄の未来に夢を託して沖縄伝統空手が無形文化財、さらにはユネスコ世界無形文化遺産として登録されることを願っています。

### 【講師陣】

- ・大湾 知子：琉球大学医学部保健学科 准教授／伝統沖縄剛柔流空手道連盟 五級
- ・瑞慶覧 勝利：沖縄県教育庁文化財課 課長
- ・桃原 直子：沖縄県文化観光スポーツ部空手振興課 課長
- ・嘉手苺 孝夫：元沖縄県文化観光スポーツ部 部長
- ・島袋 善保：国際沖縄小林流聖武館空手道協会 沖縄総本部会長 範士十段
- ・島袋 善俊：国際沖縄少林流聖武館空手道協会 大里道場館長 練士六段
- ・米里 吉則：伝統沖縄剛柔流空手道連盟 七段
- ・蔵元 雅一：伝統沖縄剛柔流空手道連盟 八段
- ・上原 米和：伝統沖縄剛柔流空手道連盟 八段
- ・東恩納 盛男：伝統沖縄剛柔流空手道連盟主席師範／沖縄県指定無形文化財保持者
- ・仲程 力：沖縄空手道協会上地流範士十段／沖縄県指定無形文化財保持者
- ・木暮 一啓：国立大学法人 琉球大学 副学長・理事/社）実践沖縄武道連盟 琉成會 総本部指導員 一級
- ・津波 高志：国立大学法人 琉球大学 名誉教授



■受講料／無料

■定員／99名

■開催日時／2023年9月15日（金）13：30～15：30

■会場／沖縄空手会館 研修会場（※ハイブリット開催。Zoom配信も行います）

■協力／一般社団法人 沖縄伝統空手国指定無形文化財・ユネスコ世界遺産登録推進協会、  
沖縄空手会館

※プログラム詳細については裏面をご参照ください。



■お申し込みはこちらから■

琉球大学公開授業・公開講座予約サイト

<https://ercll.u-ryukyu.narayun.jp/seminar/detail.php?id=1169>

# 講座プログラム

実施日	開催時間	内容（予定）	
9月15日 (金)	13:30 ～ 15:30	13:30～13:40 沖縄県教育庁文化財課課長 挨拶	瑞慶覧 勝利
		13:40～13:50 沖縄県文化観光スポーツ部空手振興課課長 挨拶	桃原 直子
		13:50～14:00 剛柔流空手にもある骨盤底筋体操	大湾 知子
		14:00～14:10 ワンスー	島袋 善保
		チントウ	島袋 善俊
		14:10～14:15 - 休憩 -	
		14:15～14:30 クルルンファ	米里 吉則
		ペッチューリン	蔵元 雅一
		セーサン	上原 米和
		テンショウ	東恩納 盛男
		14:30～14:35 サンセイリュウ	仲程 力
		14:40～15:30 生活文化のなかにおける沖縄伝統空手と健康について パネルディスカッション(司会：木暮、米里、大湾)	

## お申込みについて

琉球大学公開講座専用  
予約サイトに会員登録



会員登録用QRコード



「生活文化のなかにおける  
沖縄伝統空手と健康」

お申込み

・公開講座申込専用予約サイト（<https://ercll.u-ryukyu.narayun.jp/>）に会員登録を行い、その後当講座の申し込みを行ってください。

※お申込みの際には、備考欄へ「対面希望」「オンライン希望」「サテライト\*希望」のいずれかをご記載ください。「オンライン希望」の方へは、後日視聴用URLをお送りいたします。

\*サテライト：琉球大学サテライトキャンパス

希望者がいる場合、以下のサテライトキャンパスにおいてライブ配信を行います。

那覇キャンパス（那覇市牧志駅前星空公民館）、国頭キャンパス（国頭村民ふれあいセンター）、

久米島キャンパス（具志川農村環境改善センター）、宮古島キャンパス（宮古島市中央公民館）、

※石垣キャンパス（石垣市立図書館）は休館日のため、実施しません。

・お申込み後、受付完了のメールが届きます。受付完了メールが届かない場合は、申込み担当窓口までご連絡ください。

・定員に達し次第、締め切りとなります。

### 【申込に関するお問い合わせ】

国立大学法人琉球大学 総合企画戦略部 地域連携推進課

TEL：098-895-8019（平日9：00～17：15）

FAX：098-895-8185 E-mail：koukai@acs.u-ryukyu.ac.jp



琉球大学  
UNIVERSITY OF THE RYUKYUS